

2025年度 埼玉医科大学短期大学
専攻科(母子看護学専攻) 一般選抜／社会人選抜
学 力 試 験 (専 門 基 礎 分 野 ・ 専 門 分 野)

問題用紙 6枚

解答用紙(マークシート) 1枚

〈 記入上の注意 〉

問題は50問あります。解答欄は1～50までを使用してください。

無断転載・複製を禁ず

専攻科一般選抜／社会人選抜
学力試験（専門基礎分野・専門分野）

1 以下の問いに答えなさい。

〈1〉国際看護師協会（ICN）による看護師の倫理綱領における看護師の基本的責任はどれか。

1. 自律の尊重
2. 疾病の予防
3. 療養上の世話
4. 基本的人権の尊重

〈2〉わが国の2023年の合計特殊出生率はどれか。

1. 2.00
2. 1.57
3. 1.20
4. 0.99

〈3〉母子保健法で規定されているのはどれか。

1. 育児時間
2. 出生の届け出
3. 母子健康手帳の交付
4. 妊娠・出産を理由とする不当な取り扱いの禁止

〈4〉更年期治療として行われるホルモン補充療法のリスク因子でないのはどれか。

1. 乳がん
2. 子宮体がん
3. 子宮頸がん
4. 子宮筋腫の増大

〈5〉喫煙による人体への影響を予測するために用いられる指標はどれか。

1. ヒュージョーンズの分類
2. ブリンクマン指数
3. 修正ボルグスケール
4. PaP スコア

〈6〉出血傾向の指標となる血液生化学検査の項目はどれか。

1. FDP
2. CRP
3. HbA1c
4. eGFR

〈7〉ビタミンの作用で適切なのはどれか。

1. ビタミンDは、視覚の情報伝達に関与する。
2. 母乳保育の乳児は、ビタミンAの欠乏症になりやすい。
3. ビタミンB₁₂は、骨粗鬆症に関与する。
4. ビタミンB₁の欠乏は、ウェルニッケ脳症を引き起こす。

〈8〉分泌部位とホルモンの組合せで正しいのはどれか。

1. 前立腺 ----- テストステロン
2. 卵巣 ----- ヒト絨毛性ゴナドトロピン
3. 副腎皮質 ----- アドレナリン
4. 下垂体前葉 ----- プロラクチン

〈9〉食道がんについて誤っているのはどれか。

1. 危険因子に飲酒がある。
2. 腺がんより扁平上皮がんが多い。
3. 50歳以上の男性は高リスクである。
4. 発生部位は、胸部下部食道が最も多い。

〈10〉労作性狭心症におこる胸痛はどれか。

1. 深呼吸することで増悪する。
2. 水分を飲み込むことで改善する。
3. 30分から数時間にわたり持続する。
4. 左上腕から前腕尺骨側にかけて放散痛がある。

〈11〉内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査の患者への説明で正しいのはどれか。

1. 「内視鏡挿入時は、右側を下にして横になります」
2. 「造影剤は、静脈から投与します」
3. 「検査後は、すぐに帰宅できます」
4. 「検査後に急性膵炎になることがあります」

<12>重症筋無力症について正しいのはどれか。

1. しびれと感覚低下がおこる。
2. アセチルコリンの放出障害が原因である。
3. 検査にエドロホニウムテストある。
4. 血性クレアチニンキナーゼ値が上昇する。

<13>急性動脈閉塞の徴候である「5つのP」でないのはどれか。

1. 疼痛
2. 腫脹
3. 知覚鈍麻
4. 運動障害

<14>大腿骨転子部骨折について正しいのはどれか。

1. 関節包内骨折である。
2. ガーデン分類が用いられる。
3. 殿部にかけて著しい腫脹を生じる。
4. ハンソンピンを用いた骨接合術が行われる。

<15>全身性エリテマトーデスについて正しいのはどれか。

1. 原因となる自己抗体は、抗細胞質抗体である。
2. 合併症にループス腎炎がある。
3. メチルエルゴメトリンを用いた治療を行う。
4. 10年生存率は、50%未満である。

<16>硬膜外麻酔の特徴で適切でないのはどれか。

1. 患者の意識が清明である。
2. 麻酔薬の胎児への移行がない。
3. 麻酔薬中毒の可能性はある。
4. 長時間の手術ができない。

<17>1800mLの輸液を8時から18時にかけて点滴静脈内注射で実施する指示があった。

20滴で1mLの輸液セットを使用した場合、1分間の滴下数はどれか。

1. 50滴
2. 55滴
3. 60滴
4. 65滴

<18>受精のメカニズムについて誤っているのはどれか。

1. 成熟卵子は第2減数分裂の中期で排卵される。
2. 成熟卵子は卵管采によって卵管内に取り込まれる。
3. 精子は子宮頸管から卵管膨大部まで進入し卵子と受精する。
4. 受精卵は受精後2日目には4細胞まで分裂し着床している。

<19>乳腺の構造・特徴で誤っているのはどれか。

1. 乳頭は枝分かれして、乳房の中に乳腺の本体を作る。
2. 乳管には、乳管洞と呼ばれる乳汁を貯める場所がある。
3. 乳腺には、血管とリンパ管が分布する。
4. 男性にエストロゲンを投与すると乳腺が発達する。

<20>羊水について誤っているのはどれか。

1. 妊娠初期は無色透明だが、妊娠末期には白濁する。
2. 妊娠末期以降になると胎児尿も加わる。
3. 胎児の成熟度を知ることができる。
4. 外力からの衝撃を和らげ、胎児の損傷を防ぐ。

<21>切迫早産の治療薬はどれか。

1. リトドリン塩酸塩
2. ペニシリン
3. ジドブジン
4. ジノプロストン

<22>分娩進行中の胎児心拍の観察時間で正しいのはどれか。

1. 入院時は分娩監視装置を20分装着
2. フリードマン曲線の活動期は15分に1回
3. 胎児徐脈が確認された場合は10分に1回
4. 分娩第1期の終わりから第2期は30分に1回

<23>間もなく子宮口が全開大しようとしている。正常な分娩経過で観察できる胎児の状態はどれか。

1. 前頭位
2. 低在横定位
3. 前方後頭位
4. 前頭頂骨進入

〈24〉乳汁産生におけるエンドクリンコントロールについて正しいのはどれか。

1. 乳汁産生抑制因子が関与している。
2. 分泌される組織の局所的な調節である。
3. 分娩後 10 日以降におこるメカニズムである。
4. ホルモンなどの内分泌物質による調節である。

〈25〉9 歳、男児。1 型糖尿病により糖尿病ケトアシドーシスを起こし入院していた。自己注射を開始し、状態が落ち着いたので退院の説明を行うことになった。説明で適切なのはどれか。

1. 「給食は糖尿病食のお弁当を作って下さい」
2. 「調整すれば殆どの学校行事に参加できます」
3. 「インスリン注射は帰宅したら直ぐに打ちましょう」
4. 「学校に専属の看護師を配置するよう要請してください」

2 膀胱留置カテーテルの挿入について

正しいものには (1)、誤っているものには (2) をマークしなさい。

- 〈26〉女性のカテーテルサイズは、12~18Fr が一般的である。
- 〈27〉カテーテルの挿入は、尿の流出がみとめられたらすぐにバルーンを膨らませる。
- 〈28〉固定用バルーンは、所定量 (5~10cc) の生理食塩水を注入して膨らませる。
- 〈29〉カテーテルの固定は、カテーテルを引いて抵抗を感じたらそこから 1 cm 程度再挿入した位置で固定する。
- 〈30〉男性の場合は、陰茎を下方向にし、左右いずれかの大腿内側に固定する。

3 与薬について

正しいものには (1)、誤っているものには (2) をマークしなさい。

- 〈31〉口腔内与薬は、肝臓を通り全身循環に入る。
- 〈32〉直腸内与薬は、経口与薬に比べ作用発現が早い。
- 〈33〉皮内注射に用いる注射針は、23~25G である。
- 〈34〉皮下注射の部位は、肩峰と上腕後面肘頭を結ぶ線上の上方 1/3 点を目安とする。
- 〈35〉筋肉内注射の場合、針の刺入角度は 45~90 度である。

4 予防接種を希望する妊婦への対応で

正しいものには (1)、誤っているものには (2) をマークしなさい。

- 〈36〉水痘ワクチンを高齢初産婦に接種した。
- 〈37〉新型コロナワクチンを妊娠 10 週の妊婦に接種した。
- 〈38〉インフルエンザワクチンを妊娠 20 週以前に接種した。
- 〈39〉第一子がロタウイルス感染症に罹患したため生ワクチン接種をした。
- 〈40〉ポリオウイルスに暴露する危険が高いため不活化ワクチンを接種した。

5 妊娠期の母体と胎児について

正しいものには ①、誤っているものには ② をマークしなさい。

- <41> 妊娠 8~11 週は、児頭大横径を胎児の発育評価の指標とする。
- <42> 超音波ドップラー法では、妊娠 12 週にほぼ全例で胎児心音が聴取できる。
- <43> 超音波で NT (nuchal translucency) 検査を行うのは、妊娠 15~16 週である。
- <44> 第 1 分類とは、児背が母体の前方に偏位するものをいう。
- <45> 妊娠 36 週の子宮底の長さは、28~30 cm である。

6 新生児について

正しいものには ①、誤っているものには ② をマークしなさい。

- <46> 新生児のマスクリーニングは、公費負担による検査である。
- <47> 胎便吸引症候群の新生児は、出生直後から呼吸障害がみとめられる。
- <48> 分娩時に母体血を大量に嚥下すると真性メレナをおこす。
- <49> モロー反射は、音を聞いてまばたき（瞬目）がおこる反射である。
- <50> 新生児の血圧測定値は、学童期の血圧に比べて高い値となる。